# テクニカル・メッセージ

## 燃料系フィルタの定期メンテナンスについて

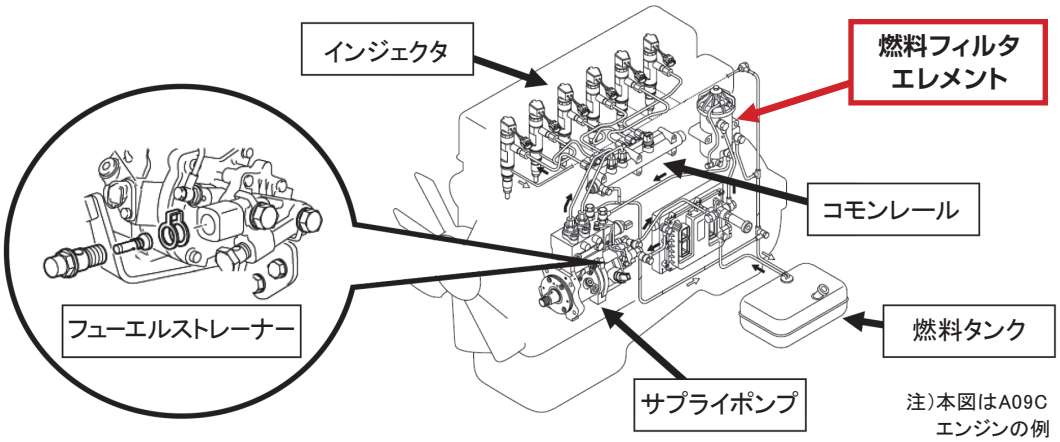
近年のディーゼルエンジンは燃料噴射の高圧化、インジェクタの高精度化が進んでいます。
その為、従来は問題にならなかった燃料中の微小な異物も、大きなトラブルの原因となる可能性があります。
このため、従来以上に定期メンテナンス時期の範囲内で燃料系フィルタのメンテナンス及び、純正燃料エレメントへの交換を徹底していただくようお願い致します。

### 1. 対象車両

日野トラック・バス　ディーゼルエンジン搭載車

### 2. 燃料フィルタエレメントの役割

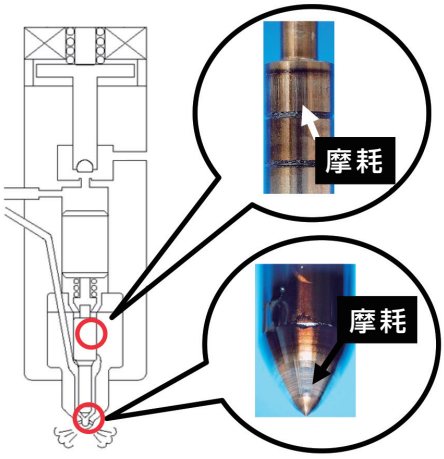
燃料フィルタエレメントは、燃料中の異物（砂、金属粉、カーボン、繊維等）の捕捉や水分を分離する事で燃料噴射装置を保護する役割を持っております。
※注意：車両によりエレメントの数、位置が異なります。



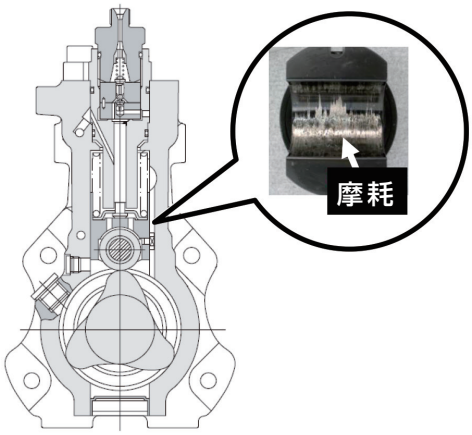

### 3. 定期交換時期を過ぎたまま使い続けると

定期交換時期を過ぎた状態で使い続けると、燃料フィルタエレメントが目詰まりし、本来の異物捕集機能や水分離機能が失われます。その結果、燃料装置の保護機能が低下し燃料装置の寿命を縮める可能性があります。

◆インジェクタ内容部品の損傷事例




◆サプライポンプ内容部品の損傷事例




日野自動車

## 4. 定期メンテナンス時期について

<table>
<tr><th rowspan="2">エンジン</th><th colspan="2">燃料フィルタエレメント</th><th rowspan="2">フューエルストレーナー</th></tr>
<tr><th>エンジン側</th><th>車両側</th></tr>
<tr><td>E13C</td><td rowspan="5">60000km/毎</td><td>清掃1回/年</td><td>1か月又は5000km毎</td></tr>
<tr><td>P11C</td><td>ー</td><td>ー</td></tr>
<tr><td>A09C</td><td>ー</td><td>1か月又は5000km毎</td></tr>
<tr><td>J08E</td><td rowspan="4">60000km/毎</td><td>ー</td></tr>
<tr><td>J07E</td><td>ー</td></tr>
<tr><td>J05E</td><td>ー</td></tr>
<tr><td>A05C</td><td>ー</td></tr>
<tr><td>N04C</td><td>300000km/毎又は10年</td><td>ー</td></tr>
</table>

※燃料フィルタエレメントの交換手順は該当する車両の取扱説明書、整備解説書を確認ください。

【規格燃料ご使用のお願い】
規格燃料（推奨JIS規格燃料）をご使用いただけないと、燃料特性によっては燃料フィルタエレメントの早期目詰まりや燃料装置、排出ガス浄化装置等の故障に繋がるおそれがあります。
規格燃料（推奨JIS規格燃料）のご使用をお願い致します。

◆規格燃料以外の燃料ご使用による懸念事項（参考）

| 燃料特性 | 懸念事項 |
|---|---|
| 酸化安定度が悪い燃料 | 配管・燃料タンクの腐食<br>スラッジ発生による燃料フィルタ・インジェクタの詰まり |
| セタン指数が低い燃料 | 着火性が悪化する事で、NOx及び始動性が悪化する |
| 発熱量が低い燃料 | エンジンの出力が低下する |
| 動粘度の低い燃料 | 燃料潤滑部位（インジェクタ部品等）の固着や摩耗等を促進する |
| 硫黄分が多い燃料 | 腐食摩耗が発生する |
| 固体微粒子が多い燃料 | 燃料潤滑部位（インジェクタ部品等）の固着や摩耗を促進する<br>燃料フィルタエレメントの早期詰まりによる排気ガスの悪化 |
| 含水率が多い燃料 | 錆が発生しインジェクタ等が摺動不良を引き起こす<br>燃焼悪化による失火によりエンスト等を起こす |